#### かわさき

# ESD ESD

2025.10

発行: 社会福祉法人 川崎町社会福祉協議会

〒989-1501 川崎町大字前川字北原23-1

No.108 TEL 0224-85-1222 FAX 0224-85-1224 E-mail kawasakit-shakyo@io.ocn.ne.jp

ふれあいネットワーク







# 夏休み福祉体験で視覚障がい体験、白杖体験を行いました







社会福祉協議会では、福祉体験を通して障がいがあるなしに関わらず人として思いやりを持った心を育んでもらおうと、キャップハンディ体験や交流会などの福祉教育事業に取り組んでいます。





7月31日、川崎町内の小学生を対象に夏休み福祉体験学習を開催し、今回は14名の小学生が参加しました。見えないってどういう事だろう?アイマスクを使用し、目からの情報を制限し、見えにくさや不安を体験する取り組みです。普段は意識していない視覚情報の大切さを実感でき、移動の難しさ、段差や障害物への注意、文字を読めない不便さを体感しました。点字体験では、点字の本も見てもらい、「ボコボコしてる~」と興味津々でした。実際に点字を打ち込む作業は少し難しかったようですが、最後まで取り組んでいました。







午後は川崎町出身で盲導犬と暮らしている視覚障がいの当事者、佐藤長一さんをお呼びして、講話をいただきました。盲導犬のオルフ(雄9歳)は9月で引退するので、今回川崎町で行う福祉体験に来ることは最後になります。盲導犬の役割や特徴、盲導犬と生活する日常を教えて頂きました。

小学生は、初めて見る盲導犬に眼を輝かせながら話をきいていました。「吠えることもあるんですか?」「おやつをあげないのは何故ですか?」等質問もたくさんしていました。また盲導犬を見かけた注意点としては、注意散漫にならないよう「触らず、見つめず、餌を与えず、名前は呼ばず」の約束事を小学生は真剣に聞き入っていました。

最後には盲導犬、オルフとふれあう特別な時間もつくって頂き、貴重で有意義な体験だったと思います。 本当にありがとうございました。

## 村上、富代様 100歲 祝賀会

大正14年7月30日生まれ 村上さんは、北海道出身。結婚を機に川崎町へ移住しました。



この度、村上冨代様が満百歳を迎えられました。 本当におめでとうございます。

長寿の節目をデイサービスの皆さんでお祝い出 来た事を大変喜ばしく思います。

これからもお元気で、笑顔溢れる日々を送られま すよう心より願っております。







# 川崎第三小学校デイサービス交流









7月17日(木)川崎第二小学校3、 4年生のみなさんにお越し頂き、 利用者の皆さんと交流会が行わ れました。

二小のみなさんのオリジナルの 紙芝居やクイズを披露して頂きま した。また各テーブルに来て頂き、 一緒にお手玉レクを行い、世代を 超えたふれあいを楽しみました。

デイサービスをご利用中の方に 二小出身の方もおり、最後は皆さ んで二小校歌を合唱しました。二 小の皆さんの元気や笑顔に触れ た楽しい時間でした!ありがとうご ざいました。



8月30日(土)、川崎町健康福祉センターにおいて「ボランティアサマーフェスタ'25」が開催されました。このイベントは、地域で支え合うボランティア団体、地域の方々や子ども達とのふれあい交流を図ることを目的に開催しております。皆さんのご協力もあって、昨年に負けない盛り上がりとなりました。













川崎中学校吹奏楽部様による素晴らしい演奏を披露して頂きました。天候にも恵まれ、大勢の人が来場されました。また、今年は初めて子ども限定で行う米運びを行いました。20名の参加者にお米をプレゼントしました。スイカ割りも行い、夏の終わりに皆さんと美味しく頂きました。

抽選会の特賞は町身しょう協会より豪華賞品を提供して頂きました。ありがとうございました。 地域の方々、ボランティアの方々から多くのご協力をいただき、大いに賑わっておりました。













当日は、24時間テレビ「愛は地球を救う」の募金活動も行いました。24時間テレビの募金は総額110,336円集まりました。また、今年のチャリティーバザー等の売り上げは、116,378円でした。こちらは、「能登豪雨災害義援金」として、石川県に寄付しました。ボランティア友の会では、10,160円を、「歳末助け合い募金」として寄付しております。

ご協力頂いた皆さんありがとうございました。このイベントは、多くのボランティア関係団体、中高生の学生ボランティアの皆さん、地域の方々の協力を頂き開催することができました。大変ありがとうございました。

### 

7月17日(木)社会を明るくする運動が実施されました。町内の小中学校、高等学校で声がけ広報活動を行いました。委員の皆さんからの挨拶に、子ども達も元気にあいさつしていました。





### お茶っこ飲み会













ボランティア友の会では、毎月一人暮らし高齢者の方を対象に気軽に集まり交流ができる場、お茶っこ飲み会を開催しています。

9月3日(水)は敬老会を行いました。ゲストに岩沼キャンパスの生徒さん達を招いて、上を向いて歩こうの曲に合わせた体操や、ピンポン玉をスプーンで運ぶリレー、新聞紙の長さを競うゲーム等、身体や指先を使ったレクリエーションを生徒さん達主導で行いました。高校生の皆さんの笑顔や元気な声で会場全体がとても明るくなり、心温まる交流の場になりました。

# 防災出前講座inたんぽぽ会







7月5日(土)野上地区たんぽぽ会に防災出前講座の講師として行って参りました。 災害時の正しい行動や、備えを学び、地域コミュニティ全体の防災力を高めるために開催されました。また、 この日はゲストとして野上出身のご家族で、福島県相馬市で被災した当時の体験を講話頂きました。 川崎町社会福祉協議会では災害時に役立つ知識や体験を学べる講座を、地域に出向いて実施します。

### 災害ボランティア研修









7月30日 (水) 川崎町健康福祉センターにて社会福祉協議会および行政職員を対象に、宮城県社会福祉協議会およびウェザー ハート災害福祉事務所代表千川原氏より指導のもと、災害ボランティアセンター準備・運営研修が開催されました。

社会福祉協議会は災害発生時、災害ボランティアセンターを立ち上げ住民の方の生活を支える役目を担いますが、今回研修対象地区となった柴田町・大河原町・村田町・川崎町の4町社会福祉協議会では、災害ボランティアセンターを経験していない職員も多い為、災害ボランティアセンターの基礎と疑似体験を中心とした内容を学びました。

### 川崎町共同募金委員会より

# 赤い羽根共同募金運動が 10月1日よりスタートします

今年も10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が全国一斉に展開されます。

369 359E

赤い羽根募金は、地域の福祉活動や、福祉施設、福祉団体、ボランティア活動充実のための支援や、大規模災害時の活動支援などに配分され大切に使われております。今年も皆さんの温かいご協力をお願いいたします。

#### 令和6年度「赤い羽根共同募金」の実績報告

		1,000,0001
内	1. 一般募金	1,312,400円
	2. 職域・団体募金	21,740円
訳	3. 学校募金	10,091円
	4 その他募金	·············· 25 128 <sup>M</sup>

歳末たすけあい募金総額 51,505	
内	1. 篤志募金51,505円
訳	2. 個人募金 0円

令和6年度の募金は、全額宮城県共同募金会へ送金し、令和7年度の事業として県内全体及び社会福祉協議会へ配分し活用されています。

義援金受付及びお問合せ先 川崎町共同募金委員会事務局(川崎町社会福祉協議会内)TEL 85-1222







